

西岡 純 洋學者。文政十一年二月二日石見國生れ、明治二十年一月
（二十一日歿（一八九一七））。幼名經太郎、初名時懋、魚人、魯人、通稱
壽馬、壽泉、修亮、周助。號大根、甘麻、甘寔舍、甘麻齋、鹿城等。
儒學、洋學を學び、幕書調所教授千傳重を經く、文久二年オランダ留
學。歸國後原成所教授、沼津共學校頭取。明治二年新政府に出仕し軍
制關係の官職を歴任、傍ら私塾育英舎を開き、六年明治社に加盟。十
二年「軍人勅諭」の原案起草。また東京學士會院會長、東京師範學校
校長、元老院議員、貴族院議員等と務め、（哲學）等學術用語多數を
創出。男爵。

著書『民權議院集説』（合著・櫻井忠徳編、明治七年七月奥田代藏
版、文寶堂）、『明治六大家文鈔』全二冊（合著・岡又二編、明治十
二年四月、千五山中市中兵衛刊）、（シロモノ）『約瑟美殺者』心理學（上合冊）『
（譯）文部省印行、明治十五年十月大阪・岡島眞七鐵刻）、『西岡哲
學著作集』（麻生義輝編、昭和八年十月、千五山汲書店）、『西岡全
集・第一卷』（大久保利謙編、昭和二十年二月、千五山日本評論社）等。
文獻、桑木巖齋著『西岡の白一新論』（昭和十五年五月、千五山日本放
送出版協會「ラジオ新書」）等。